

授業科目

疾患の成り立ちと回復の過程I

担当教員名 追手 巍	対象学年	1	対象学科	救急
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

救急救命士には、多種多様な傷病に対応することが求められ、単に病態を推測するだけでなく、生命兆候から緊急度および重症度を把握し、適切な医療機関を選定しなくてはならない。このためには、さまざまな疾患/疾病の成り立ちとその回復の過程を理解することが重要となる。

本科目では、疾患論総説および炎症と感染（微生物学を含む）、循環障害、代謝障害、退行性病変と進行性病変の成り立ちと回復の過程について学習する。

授業の目的

疾患/疾病の成り立ちとその回復の過程について、疾患論総説および炎症と感染（微生物学を含む）、循環障害、代謝障害、退行性病変と進行性病変の成り立ちと回復の過程について理解する。

学習目標

1. 疾患/疾病についての総論的事項および各論的事項として炎症と感染（微生物学を含む）、循環障害、代謝障害、退行性病変と進行性病変について、それらの成り立ちと回復の過程について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	疾患学総説（1）	講義	追手 巍
2	疾患学総説（2）	講義	追手 巍
3	疾患学総説（3）	講義	追手 巍
4	炎症と感染（1）	講義	追手 巍
5	炎症と感染（2）	講義	追手 巍
6	炎症と感染（3）	講義	追手 巍
7	循環障害（1）	講義	追手 巍
8	循環障害（2）	講義	追手 巍
9	循環障害（3）	講義	追手 巍
10	代謝障害（1）	講義	追手 巍
11	代謝障害（2）	講義	追手 巍
12	代謝障害（3）	講義	追手 巍
13	退行性病変と進行性病変（1）	講義	追手 巍
14	退行性病変と進行性病変（2）	講義	追手 巍
15	まとめ	講義	追手 巍

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円+税	
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。

必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。
授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること